



ダージャーハォ

大家好!

皆さん、こんにちは

初めまして。8月から霧島市役所に勤めている中国の国際交流員吴 屹捷 (ゴ キッショウ)です。上海市嘉定区の出身です。海外での初めての一人暮らしにワクワクしながらも緊張しています。霧島の文化を学びながら、故郷の文化や面白い物語を紹介したいと思っています。お会いした際にはぜひ声をかけてください。





▲法華塔

上海市嘉定区の紹介

1218年(嘉定10年)平江府崑山県東部が分割されることとなり、元号より嘉定県と命名されました。今の上海市嘉定区は上海市の北西34km、長江(揚子江)の三角州に位置する江南古都の一つです。総面積463.16平方キロメートル、2022年末時点では、嘉定区の常住人口はおよそ189万人です。

地形は平坦で、区内をいくつもの川が交差して流れています。区の中心部には、古くからの住居様式である「江南風住宅」が残されているところもあり、長い歴史の中で培われてきた町並みを守るため「嘉定城老街保留区」が設定され、独特の風貌を十分反映した町並みを保全する措置が採られています。近年、新興観光都市としても急速な発展を遂げています。



霧島との交流のきっかけ

旧牧園町が交流していた岡山県和気町と嘉定区が姉妹都市の縁(嘉定区の藤公園と旧牧園町の和気公園にある藤の花は、どちらも岡山県和気町から寄贈されたものであり、嘉定区の藤は1年早く植樹され、同じ藤の苗木を分けた兄弟関係にある。)です。嘉定区の藤公園では、長さが150cmを超えるもの、ブドウのように花びらが丸いものなど貴重な品種も多く、また赤、ピンク、白、ブルーと色とりどりです。

藤の花の見頃は4月中旬~5月初旬。近年、上海で人気の観光地になっています。広さ1万平方メートルの公園内で、 1日の入園者数が4.5万人を超えることもあります。観光を希望する場合、週末を避けることが良いでしょう。







嘉定区の名産物とは?

▶馬陸葡萄 80年代、嘉定区の馬陸鎮は大阪と友好都市提携を結 び、日本の大阪からの要請に応じて、馬陸に園芸場を設立し、果樹 と花を栽培することを決定しました。以来、日本でブドウの先進的 な管理と栽培の経験を学ぶために人を派遣し、ブドウ栽培に必要な 降水、日光、温度を厳格に管理してきました、今では、嘉定の最も 有名な特産品の一つとなっています。馬陸にはブドウのテーマパー クもあり、親子でブドウを収穫し、試食することができます。

南翔小籠包 1871年に中国の嘉定県南翔鎮(現・嘉定区の南翔 鎮)の菓子屋「日華軒点心店」の店主黄明賢が売り出した「南翔大 肉饅頭」が起源と言われています。南翔大肉饅頭は好評を博したた め、同業者からすぐに真似されました。その後、工夫を凝らして具 を多く皮を薄くし、簡単に真似ができないよう技術的な改良を加え た「南翔小籠包」を販売し、たちまち有名な饅頭としてもてはやさ れました。現在は上海だけでなく、全国で人気となっています。



































▲安藤忠雄「上海保利大劇院」



▲南翔古猗園



▲上海サーキット

お知らせ

国際交流員の新しいインスタグラム!!

新しい日本語版のインスタグラムを作りました。 講座の情報やイベントなどについて配信しています。 国際交流イベントをここでチェックしてみてください。



©KIRISHIMA CIR

発行:霧島市役所市民活動推進課市民環境政策・国際交流グルー -プ 連絡先:64-0924 国際交流員